

平成 19 年 5 月 26 日

平成 19 年度第一回 NPO 日本水中スポーツ連盟総会・理事会議事録

日時：平成 19 年 5 月 26 日（土）午後 6 時 30 分～

場所：特定非営利活動法人日本水中スポーツ連盟事務局

出席：野村武男、田村宏、和田烈、平尾正則、吉澤俊治、小泉和史、柘植直人、新田信行

委任状出席：北原茂美、中嶋真治、花里忠男

欠席：津田謙二

開 会 野村会長より開会宣言があり、議長に就任。

定数確認 吉澤事務局長 出席定数が確認された。

出 席 8 名 委任状 3 名 出席計 11 名

定款 29 条により総会は成立。なお、書記は阿部強化委員長

会員異動 吉澤事務局長 一身上の都合により澤栗評議員の辞任表明。

全会一致で澤栗評議員辞任を承認。

一号議案 吉澤事務局長 平成 18 年度事業報告に関しては収支決算報告と関連させる必要性から、二号議案と同時に報告する必要性があるため、二号議案と合わせて報告。

二号議案 吉澤事務局長 平成 18 年度の事業報告及び決算報告が添付資料の通り報告。  
報告内容について花里監事、依田税理士の監査を受けた旨報告あり。

質疑応答 野村会長 年度を跨ぐ入金処理について質問。

吉澤事務局長 会計処理として正確に期日を記録する必要性がある旨応答。

平尾理事 事務局員経費負担を支える財政的基盤の確立が急務。静岡県支部でも事務作業の分担を行うことが可能。

田村副会長 安定収入の確保が重要。

承認 全会一致で平成 18 年度の事業報告及び決算報告について承認された。

三号議案 吉澤事務局長 アンチドーピング懲罰規定について、アンチドーピング委員会設置に関する経緯説明と懲罰における規定について説明。

平成 19 年度日本選手権大会における陽性反応事例についての対応報告。禁止

- 物質であるため2年間の資格停止という厳罰は免れない旨報告。
- 質疑応答 和田理事 再発の防止に努めるべき。
- 野村会長 原因として無知と意図的なものがあるが、知識の普及が不可欠。
- 承認 全会一致でアンチドーピング懲罰規定について承認された。
- 四号議案 阿部強化委員長 国際派遣事業について、第一回 CMAS ゲームズ イタリアバーリ (7/28-8/5) にはシニア代表、第9回アジア選手権香港大会(9/11-16)にはユース代表、マカオアジアインドアゲームズ(10/27-28)には国際的に優秀な成績を収めた選手、韓国 3km オープンウォーター競技会(7/20-24)女子2名、韓国オープン・マスターズ大会には登録会員任意での自由参加で派遣を行う旨報告。
- 質疑応答 新田競技委員長 選手選考には辞退者による追加選考、リレーメンバーの選考、ユースに関しては合宿への参加等の事情を考慮して選考を行うため、時間を要した。
- 野村会長 補欠等を含めて選考を行うことを検討。
- 吉澤事務局長 説明会において選手への金銭負担(監督派遣分)について説明理解を求めた。昨年来選手側から費用負担に対する辛辣な意見が寄せられているための措置である。
- また、韓国オープン・マスターズは収益事業として位置づけ展開していく。アジアインドアゲームズに関して JOC へ働きかけを行い進展した。NOC からのエントリーが必要なため重要なことである。
- 承認 全会一致で国際派遣事業について承認された。
- 5号議案 吉澤事務局長 平成19年度日本選手権について、笹川財団からの協賛金等を含めた事務局からの報告あり。故小林氏夫人、ご子息、千葉景子議員にご来場頂いた。来年度の会場使用できるのが6月中旬以降となるため、他会場も含めて検討が必要となる。候補としては東京辰巳国際、千葉国際、相模原グリーン、次点として静岡県立等が挙げられる。
- 新田競技委員長 大きな事故もなく、長距離種目の多数のエントリーにも関わらず時間を短縮して終了することができた。
- 千葉国際に関しては土日2日間の予約はかなり状況が厳しい。
- 平尾理事 新設プールも完成予定で首都圏での開催が不可能な場合検討会場として上げられる。

承認 全会一致で平成 19 年度日本選手権大会報告が承認された。

6号議案 吉澤事務局長 競技委員会の変更について  
澤栗理事兼競技委員長の辞任を受けて、競技委員長代行として活動して頂いていた新田氏に競技委員長の就任を要請した。  
新田氏 フィンの役員としての経歴は未だ 5 年程度と長くはないが、学生時代からの競泳経験を生かし、他の役員のご助力を得て鋭意努力する。

承認 全会一致で新田氏の競技委員長就任が承認された。  
(※7号議案中に理事への就任に関して諮られたが、本人希望により事前の理事就任への準備が無く、現職へ支障が考えられ、検討調整中)

7号議案 その他  
技術委員会 田村副会長  
日本のイニシアチブでモノフィンの開発が進行中であり、重要部分であるブーツ部分に関して選手にアンケートを実施している。  
規則審判委員会 平尾理事  
昨年及び本年度の審判講習会・実技の合格者を添付書類にしました。役員会での承認を得たい。

承認 全会一致で審判講習会・実技の合格者が審判員として承認された。

平尾理事 大会等における野村会長の不在に関して  
野村会長の現職本業の多忙により東海大会・日本選手権等の事業への参加が厳しい状況が続いているが連盟として好ましいものではなく、会長の出席を切に希望する。  
野村会長 できる限り参加するようにするが、本年で退官を迎える事情があり（筑波大学教授）現職本業の多忙につき、参加できない場合がある。そのような場合には津田・田村両副会長に会長代行として職務を依頼することを希望する。  
吉澤事務局長 監事役員の花里氏が高齢の為、定員 2 名の監事にもう 1 名小泉和史氏を推薦したい。

承認 全会一致で小泉和史氏の監事就任が承認された、任期は今期の残存期間で来年総会までの 1 年間

となる。

閉 会 野村会長より閉会宣言。

以上

書記・阿部佳之

平成~~9~~年~~4~~月12日

議事録署名人

和田 列  印

議事録署名人

小泉 和史  印